

令和2年度 公益財団法人富山県体育協会事業報告

本会は、スポーツを普及、振興し、県民の体力向上とスポーツ精神の高揚を図り、明朗快活なスポーツ文化の進展に寄与するため、加盟団体をはじめ関係機関・団体等との連携・協働を図り、各種活動を積極的・効果的に推進した。

特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、国民体育大会本大会が延期となったほか、本県で開催予定の北信越国民体育大会や多くの事業が中止となった。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一時、県営体育施設等が休館・開館時間短縮となった。

こうした中でも、開催された全国大会において優勝・準優勝を輩出するなど輝かしい成績を収めるとともに、各種事業において、ICTの活用やプロ等のアスリートとの交流など創意・工夫を凝らして展開した。また、施設のコまめな消毒や換気に努めるとともに利用人数の制限を設けるなど感染症防止対策を徹底し、適切な管理運営に努めた。

さらに、本会加盟団体規程・倫理規程の策定などを踏まえ、スポーツガバナンスコード（スポーツ団体が適切な組織運営を行う上で遵守すべき原則・規範）遵守状況の自己説明・公表を行った。

I 法人運営

1. 諸会議等の開催

事業の適時適切な推進を図るため、次のとおり諸会議等を開催した。

会議名	回数	期 日	主な審議内容	
評議員会	1回	令和2年6月25日（木）：書面審議	事業報告・決算	
	2回	令和3年3月31日（水）：書面審議	役員を選任	
理事会	1回	令和2年5月29日（金）：書面審議	事業報告・決算	
	2回	令和2年6月25日（木）：書面審議	代表理事・業務執行理事の選定	
	3回	令和2年11月17日（火）	表彰者選考	
	4回	令和2年12月28日（月）：書面審議	会長の選任	
	5回	令和3年3月17日（水）	事業計画・予算	
	6回	令和3年3月29日（月）：書面審議	役員を推薦	
専門委員会	総務委員会	1回	令和2年7月10日（金）	委員長の選任
		2回	令和2年11月17日（火）	表彰者選考
		3回	令和3年3月17日（水）	事業計画・予算
	普及委員会	1回	令和2年11月11日（水）	体協 TOYAMA・普及振興事業・スポ少事業

専門委員会	強化委員会	1回	令和2年7月3日（金）	国体延期に伴う令和2年度の強化事業について
		2回	令和2年9月28日（月）：書面審議	未来のアスリート16期生募集
		3回	令和2年12月17日（木）	未来のアスリート16期生2次選考
		4回	令和3年3月19日（金）	強化事業・振興事業
	スポーツ医科学委員会	1回	令和3年2月15日（月）：書面審議	国体選手問診表他
特別委員会	国民体育大会選考委員会	1回	令和2年12月17日（木）	国体選手選考

2. 各種スポーツ関係団体の功労者及び優秀選手等の表彰

永年にわたり本県のスポーツ振興に貢献し、その功績が顕著と認められた者や本県のスポーツの向上に尽力し、その成績が特に優秀な団体及び個人を令和3年2月12日（金）に表彰した。

種類	受賞者・受賞団体数	
特別表彰	個人 8名	—
国体表彰	個人 7名	団体 2団体
感謝状	個人 34名	—
計	個人 49名	団体 2団体

3. 競技団体への経理指導

競技団体への経理について、より適切に事務処理を行うため、適宜顧問税理士による経理指導を行った。特に、富山県テニス協会ほか10団体については、令和2年10月5日（月）から7日（水）までの3日間、税理士等により会計諸帳簿（現金出納簿や領収書等）検査などの個別指導を実施した。

4. スポーツガバナンスコード遵守状況

スポーツガバナンスコード（スポーツ庁策定・日本スポーツ協会決定：本会向け17審査項目）については、関係団体への意見照会や説明会の開催、理事会での審議を踏まえて、令和3年3月に自己説明・公表した。

II 公益目的事業

1. スポーツ普及振興事業

県民が生涯にわたりスポーツに親しめるよう、健康レベル・体力レベルに応じた事業を展開した。各事業の実施については、専門性を有する理事等による専門委員会及び特別委員会を構成し、意見等を反映しながら、各分野の資格を有する当協会の職員が中心となって各事業を企画・立案し、関係団体と連携を図りながら事業を行った。なお、指導者のスポーツ指導における暴力の根絶に向け、本協会が実施する各種研修会等あらゆる機会を通して、周知徹底を図った。

(1) 県民のスポーツ振興及び広報啓発事業

① スポーツに関する広報啓発事業

各種イベントや行事予定など、スポーツに関する情報を広く県民に周知するために、次の広報誌等を作成するとともに、だれでも必要な情報等を簡単に検索できるよう、親しみやすいホームページの充実を図った。

ア. 広報誌の発行

名 称	発行部数	配布先	発行回数	発行元
体協TOYAMA	2,000部/回	加盟団体、市町村教委、アスリート卒業生ほか	年1回	県体育協会
スポーツパレス便り	2,500部/回	市町村関係団体、県立学校ほか	年11回	県総合体育センター
ジムワールド	3,000部/回	呉西地区県立学校、近隣企業ほか	年12回	県西部体育センター
HEALTH SWIM in TAKAOKA	2,600部/回	県立学校、近隣企業ほか	年4回	県高岡総合プール
スポーツリーダーとやま	2,200部/回	公認スポーツ指導者、加盟団体、市町村教委ほか	年1回	県公認スポーツ指導者協議会

イ. インターネットを利用した情報発信

各種スポーツ情報ネットワークの中核として、機能の充実を図った。

(ア) 本会HP上での各種スポーツ情報の発信

(イ) 地域スポーツ団体やスポーツ指導者パスネットとやまの情報発信

(ウ) メールを利用したスポーツに関する情報（JISSや日本スポーツ協会等）の発信

(エ) 上記（ア）～（ウ）と、スポーツ情報ネットワーク《県委託事業：県総合体育センター》を活用し、本県の各種スポーツ情報の充実を図った。

② エンジョイスportsサポート事業

地域住民の誰もが参加できるスポーツ活動に対し助成を行い、スポーツに対する興味・関心を高めるとともにスポーツ人口の拡大を図った。

実施市町村	実施事業	参加者数
高岡市 ほか7市町	トレーニング講習会 ほか11事業	918名

③ 生涯スポーツ推進事業

県民が生涯にわたり、明るく豊かで、活力ある生活を営むために、それぞれの興味、関心、適性等に応じてスポーツを生活の中に位置づけ、主体的にスポーツ活動を楽しむことができる環境づくりの推進を図った。

ア. 巡回指導 元気とやまスポレク交流大会 2020 砺波地区ほか 12 団体

イ. 研修会の開催

(ア) 地域スポーツ指導者研修会

(イ) 地域スポーツスキルアップ研修会

(ア)・(イ) **新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止**

ウ. スポーツ指導者パスネットとやまの運用

「スポーツ指導者パスネットとやま」登録者 139 名に指導状況調査を行うとともに、登録更新案内を送付した。

(2) 県民体育大会開催事業

広く県下にスポーツを普及・振興し、県民の健康と体力の増進並びに競技力の向上を図り、明るく豊かな県民生活の創造に寄与するため、次のとおり開催した。

※一部（競技スポーツの部）については、各競技のガイドライン等に則り、感染防止対策を講じて実施可能な競技のみ実施。

※二部（県民スポーツの部＜郡市対抗＞）、三部（健康と体力づくりの部）については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で全競技中止。

① 第 73 回富山県民体育大会（夏季競技）

季	競 技	期 日（中心会期）	会 場	参加者数
夏季	一部のみ 陸上競技 ほか 10 競技	令和 2 年 7 月 25 日（土） ～ 7 月 27 日（月）	富山市 ほか 3 市 2 町	1,773 名

② 第 74 回富山県民体育大会（冬季競技）

季	競	期 日	会 場	参加者数
冬季	スケート競技 ほか 2 競技	令和 2 年 11 月 28 日（土） ～令和 3 年 3 月 28 日（日）	富山市 ほか 1 市	645 名

(3) スポーツ指導者の養成

① スポーツ指導員養成講習会開催事業

県民のスポーツニーズが多様化する中で、専門性をもった指導員の養成が望まれているところであり、（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度の資格取得講習会を開催した。

ア. 日本スポーツ協会公認指導者養成講習会

期 日	資格名	競技名	会 場	参加者数
令和2年11月28日(土) ～12月6日(日)	コーチ1	軟式野球競技	富山市民球場	19名

イ. 富山県公認スポーツ指導者研修会

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止

(4) スポーツ少年団育成事業

日本スポーツ少年団が掲げる「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する」、「スポーツを通して、青少年のからだところを育てる」という理念に基づき、本会が設置する富山県スポーツ少年団において、地域社会全体で子どもたちを育て、将来にわたり健全な生活を送れるよう、各種事業を展開した。

① 組織の充実

ア. 組織の整備強化

(ア) スポーツ少年団指導者顕彰事業

期 日	会 場	受賞者数
令和3年2月21日(日)	富山県総合体育センター	1町16名

イ. 活動の充実

(ア) 富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会

期 日	実施競技	会 場	参加者数
令和2年9月26日(土) ～11月29日(日)	バレーボール競技 ほか 1競技	氷見市 ほか3市1町	657名

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中心会期開催中止。標記2競技は延期開催

(イ) 地域交流促進事業

(ウ) 母集団育成事業

(イ)・(ウ) **新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止**

② 指導体制の整備

ア. 各種講習会・研修会

(ア) 第3回ジュニアスポーツフォーラム指導者全国研究大会

(イ) 北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

(ア)・(イ) **新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止**

(ウ) 富山県スポーツ少年団指導者研修会

期 日	会場・講師・内容	受講者数
令和3年2月21日(日)	富山県総合体育センター 静岡理工科大学 情報学部 教授 富田 寿人 講義「運動あそびの大切さ (ACP) ～これからのスポーツ少年団が担う役割～」 実技「運動あそびの大切さ (ACP)」	58名

イ. スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会
新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止

③ 交流活動の推進

ア. 国際交流の推進

日独スポーツ少年団同時交流

イ. 全国的・地域的交流の推進

(ア) 全国交流大会

(イ) 北信越ブロック交流大会

ア, イ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止

2. スポーツ強化推進事業

国民体育大会や全国大会等で優秀な成績を収めることは、県民に大きな夢と感動を与え、大きな活力となる。このことから、国民体育大会をはじめ、全国や世界の檜舞台で活躍できる選手の育成を目指し、関係団体と連携を図りながら、合宿・遠征事業をはじめ各種強化事業を実施し競技力向上に努めた。

(1) 県民の競技力向上の推進

① 国民体育大会等開催事業

ア. 第41回北信越国民体育大会

5年に1度の本県開催ということで、競技団体をはじめ関係機関と開催準備をすすめていたが、第75回国民体育大会本大会の開催延期に伴い中止となった。

イ. 国民体育大会

第75回大会本大会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、2023年に延期となり、大会回数の付与されない特別国民体育大会として開催されることが決まった。なお、男女総合成績（天皇杯）及び女子総合成績（皇后杯）は空位として確定しない取り扱いとなった。

また、第76回大会冬季大会のスケート競技会は岐阜県恵那市と愛知県名古屋市で開催され男女総合成績は19位であった。スキー競技会は秋田県鹿角市で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となった。

(ア) 大会概要

回	季		期 日	開催地 (参加者数)	成 績
75	本 大 会	会期前	延 期	—	—
		中心会期			
76	冬 季 大 会	スケート	令和3年1月27日(水) ～1月31日(日)	愛知県名古屋市 岐阜県恵那市 (10名)	入賞数 5
		スキー	中 止	—	

冬季大会

・スケート競技会 米山 隆 団長 ほかに9名

② 競技力向上事業

ア. 国体へ向けた選手強化

(ア) 合宿・遠征事業

強化指定選手等の強化を図るため、県内合宿・県外遠征・県外優秀チーム招へいを計画的に実施した。

(イ) 強化指定事業

選手指定：少年種別 38 競技 492 名 成年種別 41 競技 548 名 計 1,040 名
 スタッフ指定：41 競技 総監督 22 名 各種別監督 109 名 コーチ 67 名 計 198 名

(ウ) アドバイザー・トレーナー招へい事業

6 競技に 6 名のアドバイザー、22 競技に 26 名のトレーナーを招へいし、強化練習会等で指導を受け、県内指導者の資質の向上と本県選手の競技力向上を図った。

(エ) 選手強化対策補助事業

国体での上位入賞を目指し、競技団体ヒアリング等を通じて各競技団体の現状の把握に努め、効率よく強化事業が展開されるよう競技団体との連携を密にした。また、競技団体強化担当者が、各種全国大会等での競技力調査を実施し、本県の戦力分析や優秀選手の発掘に努めた。

イ. 将来に向けた優秀選手の育成

(ア) 元気とやまスポーツ道場開催事業

中学校や高等学校の有望な逸材を発掘し、県内の拠点スポーツ施設において長期的な展望のもとに育成・強化を図った。

内 容	競技数	参加者数
練習会、講習会	アイスホッケー競技 ほか 18 競技	889 名

(イ) 中学・高校運動部スーパーコーチ派遣事業

全国大会で優勝等の指導経験が豊かなスポーツ指導者を中・高等学校へ派遣し、部活動顧問の指導力及び部活動運営を支援することにより、本県スポーツの競技力向上と運動部活動の一層の充実を図った。

コーチ氏名	指導部活動	派遣校	指導回数
石川 春樹	バレーボール	高岡商業高等学校 ほか 1 校	561 回
橘川 謙三	柔道	小杉高等学校 ほか 3 校	
坂巻 龍雄	ボート	八尾高等学校 ほか 2 校	
飛田 昌広	ホッケー	石動高等学校 ほか 5 校	
金子 龍一	陸上	龍谷富山高等学校 ほか 6 校	
井渕 信雄	スキー	南砺平高等学校 ほか 3 校	

③ 未来のアスリート発掘事業

スポーツ能力に優れた児童を見出し、競技団体、学校、家庭と連携を図りながら、将来のスポーツ界を担う人材育成のサポートを行った。

ア. 15期生（令和2年1月指定）75名

(ア) 育成プログラムの実施

実施内容	実施回数	会場
「メンタルトレーニング」 関西福祉大学 岡澤 祥訓	6回	県総合体育センター 山野スポーツセンター
「スポーツ障害」 富山労災病院 山上 亨	1回	
「スポーツ栄養」 日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士 舘川 美貴子	3回	
「コンディショニング」 県総合体育センター 山地 延佳	3回	
「ファルトレクトレーニング」 (公財) 富山県体育協会 柿谷 朱実	2回	
「コーディネーショントレーニング」 (一社) コーチングバリュー協会 東根 明人	3回	
「コーディネーショントレーニング(投・走)」 県西部体育センター 宮島 秋子	2回	
「体力測定」	1回	
「スポーツ講演会」 ダイチ株式会社 山元 豪 (スキー競技)	1回	

(イ) プロ等ゲーム観戦及び県内トップアスリートとの交流

期日	内容	参加者数
令和3年1月24日(日)	アクアフェアリーズ(バレーボール)	16名
令和3年2月14日(日)	富山グラウジーズ(バスケットボール)	31名
令和3年2月21日(日)	アランマーレ(ハンドボール)	20名

イ. 16期生（令和3年1月指定）74名

(ア) 育成プログラムの実施

実施内容	実施回数	会場
「スポーツ障害」 富山労災病院 山上 亨	1回	県総合体育センター
「スポーツ栄養」 日本スポーツ協会公認スポーツ栄養士 舘川 美貴子	1回	
「コンディショニング」 県総合体育センター 山地 延佳	2回	
「体力測定」	1回	

ウ. 奨励賞の授与

1期生から14期生の修了生の中で、各種スポーツ大会で活躍し、その功績が顕著と認められた4名に「奨励賞」を授与した。

エ. 修了生サポートプログラム

体力測定2回 192名 メンタルトレーニング1回 54名

オ. 修了生活躍状況の掲示

県総合体育センター正面入口横にボードを設置し、修了生の活躍状況を掲示した。

※現在16期生まで累計1,025名（うち 日の丸をつけた選手72名）

④ 競技スポーツ振興事業

小学生、中学生を対象に、スポーツ教室、記録会及び練習会を実施し、競技スポーツに対する興味・関心を高めることにより、競技スポーツ人口の拡大を図った。

内 容	競技数	参加者数
記録・練習会	スケート競技 ほか26競技	5,825名
教 室	スケート競技 ほか17競技	4,840名

⑤ TOYAMAアスリートマルチサポート事業

本県競技力の一層の向上を目指し、各種強化事業と併せ、選手の発育・発達段階に応じた適切で、より効果的な医科学サポートを実施するとともに、令和元年12月に開館した富山県総合体育センター第2トレーニング室を最大限に利活用し、選手へのサポート体制のさらなる拡充に努めた。

とりわけ、2021年に開催される東京オリンピックを見据え、監督はじめコーチ・スポーツドクター・トレーナー等が連携を図りながら、個々の選手の体力測定結果等に基づくスポーツ医科学的サポートを積極的に展開し、全国や世界の檜舞台で活躍できるアスリートの育成に取り組んだ。

ア. 委員会等の開催

会議名	期 日	実施内容
委員会	令和2年9月25日（金）	事業報告・計画審議 （書面審議）

スタッフミーティングについては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止

イ. サポート内容

区分	主な内容	人数・回数等
医・科学サポート	メディカルチェック 栄養サポート メンタルサポート ドーピング研修	20 競技 29 種目 807 名
サポートスタッフ 中央講師の派遣	大会・強化合宿への スタッフ派遣	大会 29 日 強化合宿 31 日
調査・研究	H P S C との連携	1 回 (ハイパフォーマンススポーツセンターネットワーク構築会議 ※オンデマンド配信による)
スポーツ情報	HOW TO WIN No.27 スポーツ医科学的トレーニング情報No.58 T-net	ホームページへの掲載 情報発信

ウ. スタッフ研修

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止

⑥ スポーツ医・科学研修会等開催事業

ア. アンチ・ドーピング教育・啓発

国体選手を中心としたアンチ・ドーピング教育及び啓発活動の実施を通して薬物乱用や誤用の認識を高めるため、指導者や強化・普及担当者を対象とした講習会を開催し、健全なスポーツ活動を推進した。

期 日	会場・講師・内容	参加者数
令和 2 年 9 月 26 日 (土) ～令和 2 年 10 月 4 日 (日)	富山県総合体育センター ほか 1 会場 富山県薬剤師会 藤田智弥 ほか 1 名 「ドーピングとは・うっかりドーピングとは・検査 について・TUE 申請とは」等	38 名

※参加対象者 レスリング競技 ほか 1 競技 令和 2 年度富山県体育協会強化指定選手等

イ. 問診票による健康診断

県体育協会が指定する強化指定選手及び国民体育大会選手 105 名に対し、問診票による健康状態調査を実施した。女性アスリートには、女性アスリート用の問診表も活用している。

⑦ 全国的大会等開催助成事業

全国的・国際的の大会や日本リーグ等レベルの高い大会への開催運営費を補助した。

実施期間	令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月
実施競技	第 53 回全日本実業団選手権大会 (ボウリング) ほか 4 大会

⑧ 海外派遣選手激励事業

スポーツをする選手たちに夢と希望をあたえるとともに、スポーツ人口の拡大に繋げることを目的に、国際大会へ日本を代表として出場する選手・監督に激励費を渡した。

国際大会	助成大会	2021FIS ノルディックジュニア世界選手権大会
	派遣人数	延べ 2名
	派遣先	フィンランド

⑨ スポーツ交流事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止

⑩ 東京 2020 五輪特別対策事業

東京 2020 五輪の開催延期のため中止

3. スポーツ施設を活用した各種事業と効率的な管理運営

県民が安全かつ快適にスポーツができるよう県総合体育センターをはじめとするスポーツ施設の環境を整え、県民の生涯スポーツの普及振興を図るとともに、健康・体力・生きがいづくりに寄与するため、次の各種事業を実施した。

(1) スポーツ施設等を活用した各種事業と効率的な管理運営

① スポーツ施設管理運営事業

施設管理業務とスポーツ振興のソフト事業を一体的に推進するとともに、効果的かつ効率的なサービスの提供に努めた。また、スポーツ人口の拡充を図るため、利用者のニーズに合わせた管理運営を実施した。

特に令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、6つの県営体育施設が4月1日から5月28日まで（うち4月18日～5月19日全面休館）休館した。また、4つの県営体育施設が1月16日から1月31日まで開館時間短縮となった。

本会でも、各施設において、「3つの密」の徹底的な回避を行うとともに、非接触体表面温度測定器・足踏式消毒器の設置や利用人数の制限など感染症防止対策を徹底し、安全かつ安心して利用いただけるように努めた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、利用人数は前年度比約60%と大幅に減少した。

ア. 県営体育施設（指定期間5年間 平成30年4月～令和5年3月）

施設名	利用人数	施設名	利用人数
県総合体育センター	161,708名	県西部体育センター	84,561名
県高岡総合プール	51,703名	県営富山弓道場	6,534名
県漕艇場	13,059名	県上市カヌー競技場	1,930名
計		319,495名	

イ. 県体協体育施設

施設名	利用人数	施設名	利用人数
アオイスportsハウストレーニング場	6,442名	山野Sportsセンター	1,205名
屋内相撲練習場	1,976名		
計		9,623名	

(2) 各種Sports教室開催事業

Sportsを始めるきっかけと楽しむことができる場を広く提供するとともに、それらによって作られた自主グループ活動の支援を行うために、次の各種教室を展開した。

Sports教室開催事業の実施状況

施設名	教室	実施回数	延べ受講者数
県総合体育センター	元気 TOYAMA 親子チャレンジ	17回	341名
県西部体育センター	マンデースportsタイム ほか3教室	91回	611名
県高岡総合プール	初級スイム ほか42教室	1,011回	12,354名
県営富山弓道場	弓道教室	69回	438名
県上市カヌー競技場	カヌー体験教室	中止	中止
計		1,188回	13,744名

Ⅲ 収益目的事業

本会が管理運営する県総合体育センターほか5施設に自動販売機を設置し、飲料等を提供した。

また、本会の公益目的事業の推進に資するための付随事業として、日頃Sportsに親しみのない県民がSports施設を知っていただくことで、今後のSports活動に拍車をかけるとともに、個々の体力に応じてSportsに親しむ契機になることを期待し、管理運営するSports施設の会議室等を公益目的事業以外で貸与した。